

デュランの学校というのは、たいへん有名な演劇学校だったのですが、そこで学んでいた俳優のほとんどはマイムなどには興味を持ってくれず、いつのまにか私たちのクラスには誰もいなくなっていました。ドゥクルーの実の息子を別とすれば、私は、1944年から48年まで残ったただひとりの生徒だったのです。もしドゥクルーという人に会っていなければ、私は、その気になればマイムもできる俳優、という存在になっていたでしょう。いまのマルセル・マルソーはきっといなかったと思います。

P.82 「??????」 ?月号 短期集中連載 特別インタビュー

